



## 城川内小学校で鰯王を使った学校料理教室 盛り付けはきれいにできた



1月27日、城川内小学校（廣留美校長・69人）で6年生を対象に「鰯王」を使った学校料理教室がありました。

児童らが本町の特産品である「鰯王」の調理をとおして地域の食文化を理解することを目的とし、東町漁業協同組合職員と養殖業者会会員が共同で講師を務めました。

溝添太陽さんは「講師は上手にさばいていたが、自分でやってみると難しく力が入った。得意な盛り付けはきれいにでき、おいしかった」と振り返りました。

## 赤奇さんの家族経営協定調印式 より高品質な牛肉を提供したい



1月28日、農業の経営方針や役割分担などを家族間の話し合いに基づき取り決める家族経営協定を、赤崎清さん（赤崎・写真左から2人目）家族が締結しました。

農業委員会の飯田満穂会長（写真右）は「家族間でより良い経営をお願いしたい。息子さんには、今後の経営で積極的に意見を出し、決断と責任を学んでほしい」と激励し、息子の基輝さんは「より高品質な牛肉を提供できるよう家族一丸となつてがんばっていききたい」と決意表明をしました。

## B&G拾い箱設置お披露目会 きれいな海を次の世代へ



1月31日、B&G蔵之元艇庫で「B&G拾い箱」のお披露目会を開催し、（公財）B&Gの職員や地元公民館、地元子ども会など約50人が参加。財団の菅原悟志理事長は「『拾い箱』を活用して、次の世代のためにこのきれいな海を残してほしい」とあいさつしました。

拾い箱は、海に訪れた誰もが漂着ごみを回収し処分できることを目的に、同財団が製作と設置費用などの支援を行っています。

披露後、参加者は周辺の海岸ごみを回収・分別を行い、拾い箱に収めました。

## 子牛の初競り開催 生産と販売の両面で前進したい



2月3日、出水中央家畜市場で子牛の初競りが開催され、本町から25の農家が出品しました。鹿児島いずみ農業協同組合の京田堤樹常務が「牛肉の消費拡大に向けた取り組みを継続し、今年一年、生産と販売の両面で着実に前進していきたい」とあいさつしました。

この日は、去勢牛149頭、雌牛169頭の計318頭が競りにかけられ、購買者が次々と落札しました。最高価格（税抜）は109万9千円、1頭当たりの平均価格は70万1千円でした。